

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2020年7月9日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	ハンガリー
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: エトヴェシュ・ロラード大学 現地言語: Eötvös Loránd University
留学期間	2019年9月～2020年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	人文学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年3月22日
明治大学卒業予定年	2022年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月～1月 2学期:2月～7月 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	3万人
創立年	1635年

留学費用項目	現地通貨 (フォリント)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	556,800	206,000円	寮は1ヶ月18,000円
食費	648,600	240,000円	
図書費	0	0円	
学用品費	4000	1500円	教科書一冊
携帯・インターネット費	35,000	13,000円	
現地交通費	24,150	8,900円	( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	190,000	70,000円	形態:11ヶ月プラン(帰国が早まり返金手続きをしてもらった)
渡航旅費	540,500	200,000円	
ビザ申請費	0	0円	
雑費	0	0円	
その他	0	0円	
その他	0	0円	
<b>合計</b>	<b>1,998,400</b>	<b>739,400円</b>	7ヶ月現地滞在分

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地:東京	目的地:ブダペスト 経由地:フィンランド
復路 出発地:ブダペスト	目的地:東京 経由地:ロンドン
<b>渡航費用</b>	
①往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:200000	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: _____ 料金: _____ 復路 航空会社: _____ 料金: _____ ∴合計: _____	
<b>航空券購入方法</b>	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL ホームページ) <input type="checkbox"/> その他( _____ )	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Kerekes dormitory) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人 _____)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
留学前に、入寮希望のメールが届き、そこから申し込み可能。だが、現地の学生とハンガリー政府奨学生が優先されるので交換留学生が入れる確証はないようだ。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
寮は3人部屋で、どの寮も人数に対して部屋が狭く感じるかもしれない。ハンガリー人の割合が高く、静か。留学生向けのイベントや交流スペースなどはない。そのため、交流を増やすため急遽帰国する前の短期間は 2 人の大学生とフラットシェアをした。家賃は寮の 2~3 倍ほど。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____ Rozsakert Medical Center _____)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
基本的に治安は良いが、東駅と Blaha Lujza ter 駅周辺路地は気をつけた。上記の駅では地下鉄で乗車券を購入する際にカードを抜かれないように注意した。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。) 寮の Wi-Fi が一ヶ月ほど不調だった。街に出てカフェや店に入れば、Wi-Fi が使える。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。) 現金を使用する機会は少ないが、数ヶ月に一度キャッシングをし、クレジットカードを主に使用した。	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
45 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) ・履修の制限はありましたか? セミナータイプは人数制限あり	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cities of Central Europe in the 20-21st Century: Identities, Politics, and Memory.	20～21 世紀中欧の都市:アイデンティティ、政治、メモリー
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	Autumn semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Erika Szivos Dr.
授業内容	20～21 世紀の中欧、東欧のオーストリア、ハンガリー、チェコ、スロヴァキアなどの都市の歴史を政治、民族、イデオロギー、建造物の観点から学ぶ。
試験・課題など	期末レポート5、6枚。中、東欧の歴史ならどのテーマでも書ける。事前にテーマを教授に相談する。
感想を自由記入	世界史の知識がないと、難しい。課題のリーディング(毎週 30～70 ページ) はかなり細かいところまで書かれているので大まかな歴史的背景を知っていた方が良さだろう。周りはヨーロッパ人の学生のみ、12人ほど。セミナーは生徒の積極性が求められる授業形態だが、この授業は教授が話し続けていた。感じのいい教授なので、気軽に質問できる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Language Practice	言語演習
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	Autumn
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Szell Zsofia
授業内容	言語演習
試験・課題など	テキストの1章を週一で終わらせる。単語テストと文法テストが二週間に一度くらい。中間と期末テスト。テストは難解なので、かなり準備が必要。担当教授によってテストの実施内容や回数は違う。好きなテーマでプレゼン。
感想を自由記入	半分ほどはハンガリー人の学生で、ロシア、タイ、中東の学生がいた。先生が若かったこともあり、アットホーム。授業外でもクラスメイトで遊んだ。楽しい授業という感じ、よくクラスメイトの前で話させられた。この授業は、米、英学専攻の正規の学生の必修らしく多数の先生と時間帯の中から、選ぶ。授業名は同じだが、課題があまりにも多い先生やアジア人の学生が固まっていたり各クラスによって様々。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
The history of European integration	ヨーロッパ融合の歴史
科目設置学部・研究科	社会科学部
履修期間	Autumn
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90 分が1回
担当教授	Viktor Szep
授業内容	第二次世界大戦から Brexit までの EU の歴史。
試験・課題など	期末テスト。選択、エッセイ二題。
感想を自由記入	レクチャータイプの授業は期末テストが 100%反映されるので注意。この授業は戦後から現在までのヨーロッパ全体の動きを学ぶので暗記する量も多く、テストが難解だった。留学先大学はテストが 2 回まで受けられるが、無欠席かつ試験前の入念な準備が必要。レクチャータイプは授業によって落とす生徒もめずらしくない。内容としては、EU の情勢に関して非常に理解が深まり、履修して良かったと感じた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cultural Studies	カルチュラルスタディー
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	Autumn
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Hollo Dorottya ほか複数
授業内容	英語圏の国アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリアについて学ぶ。
試験・課題など	期末テスト。四択形式。
感想を自由記入	海外で、客観的に他の国について学ぶのがとても面白かった。しっかり準備すれば、テストは問題ない。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Contemporally Challenge for the Hungarian Society	ハンガリー社会の現代問題
科目設置学部・研究科	社会科学部
履修期間	Autumn
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Pronai Csaba ほか複数
授業内容	現代ハンガリー社会の問題について。貧困、健康、ロマ、ユダヤ人差別、欧州単一市場とハンガリー、アイデンティティー、移民問題、性差、民族差別など。
試験・課題など	期末テスト。四択形式。
感想を自由記入	毎授業違う教授が講義し、担当教授との連携があまりないのか全授業のスライドがアップロードされなかった。周りは留学生のみだった。ハンガリーでの日常生活での気づきと、この授業で学んだことが繋がる瞬間があるため、興味深かった。テストは易しい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Health Communicaton		ヘルスコミュニケーション	
科目設置学部・研究科	人文学部		
履修期間	Spring		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授	Andras Mullner, Dr,Baris Bulunmaz, Didem Basak Erugun		
授業内容	前半はトルコの大学からきた教授が、メディアを通じた医療や健康に関する情報への繋がりについて、具体的にはヨーロッパでは広く普及しているらしいオンライン診察などといえイメージが湧きやすいかもしれない。医療供給者と私たちを繋ぐ SNS など。後半は、健康問題(肥満、性別、遺伝子操作、生死、人種、流行病)テーマの映画について毎週二人組の学生がプレゼンする。後半はオンライン授業に切り替わったので、そのプレゼン資料を見て課題をこなす。		
試験・課題など	プレゼン準備、期末レポート 2000words、自分が分析したい映画を決めて事前に教授に相談する。オンライン授業になってからは毎週 400words ほどフィードバック。		
感想を自由記入	映像学科の知識があまり必要ないので、少し興味があつて映像の授業を受けてみたい人には良い。ハンガリーはロケ地の安さから映画撮影によく使われると聞いたので、映像関連の授業を取ってみるのもいいと思う。この大学に映像学科専攻で他のヨーロッパ諸国から来ている留学生は想像以上に多い印象。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Space race in the cold war:the fuel of exploration		冷戦時代の宇宙開発競争	
科目設置学部・研究科	人文学部		
履修期間	Spring		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授	Bence Pesenyanszki		
授業内容	人類が宇宙に到達してから今までの宇宙開発競争の動き。宇宙開発の背景にはアメリカとソ連、かつ国際情勢が深く関わっており、包括的にその歴史を学んでいく。		
試験・課題など	Space race のタイムラインを作る、中間、期末テスト(選択とエッセイ)、プレゼン、期末レポート5枚ほど。毎週予習のリーディング 30~80 ページほど、15 分から1時間半ほどの動画を観てくる。		
感想を自由記入	授業名が面白そうなので取ったが、大変だった。宇宙開発に関する知識は全くなかったのではじめの方は授業内容を理解すること自体難しい。特にロシア人の名前や地名を聞き取る事も書き留める事も出来ないことに躓いた。この授業に関しては、予習課題のリーディングと動画を観なければ置いていかれる。周りはヨーロッパの国からの留学生で6人と少数だったが歴史専攻でない人もいたので、やる気さえあれば問題ない。暗記量もかなり多く、テストは難解。よく名指しで質問される。大変だった事もあり、達成感を得られ、宇宙開発と国際情勢の深い繋がりが見えて面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
History of Great Britain		イギリスの歴史	
科目設置学部・研究科	人文学部		
履修期間	Spring		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Velich Andrea		
授業内容	紀元前から第二次世界大戦終戦までのイギリスの歴史。		
試験・課題など	期末テスト、四択形式。		
感想を自由記入	レクチャー形態での歴史の授業で履修できるものがこの教科のみだったので履修した。スライドの量が多く、スライドも配布されず、写真を取るのも禁止だったので、授業に出席してメモを取るほかない。スピードが早く、かなり細かいことまで網羅しているので大変。後半はオンライン授業になり、毎週授業で講義するはずだった内容が資料として配られるようになったのでテスト勉強に困らなかった。テストは四択式ではあるものの、難解。ヨーロッパは歴史が古いので、歴史的な事象を学ぶことで現在の情勢や社会をより深く理解することに繋がると実感した。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Business areas 1		ビジネス関連の英語	
科目設置学部・研究科	人文学部		
履修期間	Spring		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Kalman Csaba		
授業内容	ビジネス英語、単語。マネジメント、コンサルタント、クライシスマネジメント、国際市場など毎週テーマが決まっている。		
試験・課題など	単語テスト、ビジネスに関するプレゼン、1章分の問題を毎週解いてくる		
感想を自由記入	レクチャー形態だが、15人ほどのセミナーのような授業。毎授業3回ほどは当てられるが、教授が優しいのでわからない問題にはヒントを出してくれた。8割はハンガリー人の学生で、他は正規の西アジアの学生だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Everyday Life in Socialist Hungary	ハンガリーの社会主義者の毎日
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	Spring
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Ferenc Hammer Dr.
授業内容	ハンガリー動乱があった1956年あたりから現在のハンガリー共和国になった1989年までを重点的に、アート、政治、映像から学ぶ。現在の政治動向についても学んだ。
試験・課題など	初回にリーディングのフィードバックを400words。ブダペストのメメントパークに行くと400wordsほど感想。オンライン授業になってからは、毎週リーディング30ページ程か1時間の動画を観て三つ質問を授業前にアップロードした。期末レポート6枚ほど。
感想を自由記入	教授がハンガリーの移り変わりを生きてきた当事者なので、生の声が聞ける。今のハンガリー社会が顕在化した過程を知ることが出来て良かった。生徒はヨーロッパと西アジアの留学生のみで5人ほど。本来ならば最後の授業はブダペストの街散策だったらしく、残念。

### 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	明治大学入学
8月～9月	語学試験の勉強
10月～12月	語学試験の勉強、出願、選考
2019年 1月～3月	
4月～7月	ビザ申請、航空券購入
8月～9月	ビザ取得、八月末出発、現地でボランティア
10月～12月	中間テスト、秋休み、期末テスト、学期末クラス会、ボランティア
2020年 1月～3月	期末テスト、三月末帰国、オンライン授業で留学継続
4月～7月	六月中旬留学終了
8月～9月	
10月～12月	



## 留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

1 年間の交換留学なので、自分の知らない世界で新しいことを吸収したいと思い、日本語の情報がまだあまり少ないハンガリーに留学しました。また、ヨーロッパの中心に位置しているので非常に旅行しやすい点が魅力的でした。大学の紹介動画を見て色々な国籍の人がいると感じていましたが、それは本当で日本では出会えないような国からきている人が大勢います。私の寮のルームメイトはキルギス人とモンゴル人でした。また、後半にシリア人とスイス人とフラットシェアしました。もちろんヨーロッパの様々な国からの人も圧倒的に多いです。どの国から来ても、とても流暢に英語を話しています。大学での勉強に関しては課題やテストが重い教科とそうでない教科の差があるように感じました。興味深い授業が沢山ありました。所属学部によると思いますが、図書館が小さく寮でも部屋以外勉強するスペースがなかったのでカフェでよく勉強していました。また、人文学部の校舎は印刷機がなく、印刷屋で印刷していました。ブダペストは交通の便も良く、おしゃれなカフェや綺麗な街並みも揃っていて素敵な場所でした。首都なので、英語だけで生活できます。物価も安く、生活に困ることはありません。ぜひ留学先として検討してみてください。